

2019年5月15日

各 位

上場会社名 株式会社 ニッピ
 代 表 者 代表取締役社長 河村 桂作
 (コード番号 7932)
 問合せ先責任者 経理部長 井上 善之
 (TEL 03-3888-5117)

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2019年3月期の通期個別業績において、前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期個別業績と前年実績との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2018年3月期実績(A)	百万円 26,899	百万円 1,503	百万円 1,563	百万円 1,004	円 銭 349.30
2019年3月期実績(B)	28,319	△11	375	310	108.05
増減額(B-A)	1,420	△1,515	△1,187	△694	
増減率(%)	5.3	—	△76.0	△69.1	

(注)当社は2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。

前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

1. 営業利益の差異について

コラーゲン・ケーシングは、拡販施策により、海外市場での開拓、深耕を実施した結果、シェアは獲得できたものの、海外メーカーとの価格競争により平均販売単価が前期割れとなりました。また、製造子会社の新工場の減価償却費増加、生産調整、製造費用の増加などで製造原価が上昇したことにより、製造子会社からの買い取り価格を改定し、個別損益は前年実績比大きく減益となりました。

また、ペプチドは、魚由来の原料価格の上昇に歯止めがかからず、販売価格の改定は進めているものの、浸透するまでに至らず前年実績比減益となりました。

これらを主要因として、営業損失は、11百万円(前事業年度の営業利益は1,503百万円)となりました。

2. 経常利益及び当期純利益の差異について

営業外損益は、海外子会社からの配当金が増加したこと、また、為替差益が増加した事により増益となりましたが、経常利益は、1,187百万円減少し、375百万円(前年同期比76.0%減)となりました。また、当期純利益は、694百万円減少し、310百万円(同69.1%減)となりました。

以 上